

令和 4 年〇月吉日

千葉県糖尿病性腎症/CKD 重症化予防対策推進に関わるお願い

各位 もしくは 千葉県 CKD 対策協力医の先生方

日頃より腎疾患医療への多大なるご協力を賜り感謝申し上げます。千葉県健康づくり支援課に設置された千葉県糖尿病性腎症重症化予防対策推進検討会/千葉県慢性腎臓病（CKD）重症化予防対策部会では、千葉県における腎疾患重症化予防対策を効果的に推進するため協議をさせていただいているところですが、本対策を推進するにあたりお願いをしたいことがあり連絡をさせていただきます。何卒、ご理解ご協力のほどお願い申し上げます。

糖尿病性腎症診療においては推算糸球体濾過量（estimated glomerular filtration rate: eGFR）と尿アルブミン・クレアチニン比（urinary albumin creatinine ratio: UACR）測定が、CKD 診療においては eGFR と尿蛋白・クレアチニン比（urinary protein creatinine ratio: UPCR）測定が、必要不可欠な検査項目となっております。一方、現状ではこれらの値の測定が進んでおらず、その原因としてオーダー時の煩雑性が指摘されております。

そこで、以下を提案させていただきます。

- ① 血清クレアチニン測定オーダー時には eGFR 値が自動的に報告されるようにする
eGFR は血清クレアチニンを測定すれば、性別と年齢から計算式により算出されるものであり、追加の検査を必要とするものではありません。
- ② UACR を検査依頼用紙のオーダー項目として追加する
尿アルブミン濃度は尿濃縮度に影響を大きく受けるため、この値のみでの臨床的な情報価値はなく、尿中クレアチニン値で補正した UACR 値で臨床的判断をすることが望まれます。UACR オーダー時には尿アルブミンと尿クレアチニン濃度が測定され各々の検査値が報告されるとともに、UACR 値も報告されることを目指します。UACR は、保険適応上「早期糖尿病性腎症」に対し 3 か月に 1 度のみで認められますのでご注意ください。
- ③ UPCR を検査依頼用紙のオーダー項目として追加する
理由は②と同じです。UPCR オーダー時には尿蛋白と尿クレアチニン濃度が測定され、UPCR 値も報告されることを目指します。

上記に関しまして、添付の書類をご利用いただき、契約されている検査会社への依頼をいただきますと幸いです。また、算定点数の例をいくつか別添資料で示させていただきました。

お手数をおかけいたしますが、ご協力の程どうぞよろしくお願い申し上げます。

千葉県糖尿病性腎症重症化予防対策推進検討会

千葉県 CKD 重症化予防対策部会

連絡先、担当者必要か？

(案)

医療機関から検査会社への依頼文

検査会社ご担当者様

私（当施設）は、千葉県の糖尿病性腎症重症化予防対策/CKD 重症化予防対策に協力しているため、以下の対応をお願いいたします。

- 新たに検査報告用紙に eGFR 結果記載欄（単位は[mL/min/1.73 m²]）を設け、今後、成人例（20 歳以上）において血清クレアチニン測定をオーダーした際には、血清クレアチニン値と共に eGFR の値も報告してください。

※計算式は日本人式（eGFR [mL/min/1.73 m²] = 194 × age^{-0.287} × Cre^{-1.094} [× 0.739 if female]）

- 新たに検査依頼用紙に、「尿アルブミン/クレアチニン比（UACR）」という項目を作成してください。依頼時には、尿アルブミン濃度（mg/dL）と尿クレアチニン濃度（mg/dL）の測定結果とともに、UACR の結果も単位[mg/gCre]にてご報告をお願いします。
- 新たに検査依頼用紙に、「尿蛋白/クレアチニン比（UPCR）」という項目を作成してください。依頼時には、尿蛋白濃度（mg/dL）と尿クレアチニン濃度（mg/dL）の結果とともに、UPCR の結果を単位[mg/gCre]にてご報告をお願いします。

(案)

算定点数例

① 血液：尿素窒素 (BUN)、クレアチニン (Cre)

尿：定性、蛋白定量

算定点数： 初診 601点 再診 354点

② ①に尿のクレアチニン濃度を加えたパターン (=UPCR をオーダーした時)

算定点数： 初診 612点 再診 354点

③ 血液：尿素窒素 (BUN)、クレアチニン (Cre)

尿：定性、蛋白定量、尿沈渣

算定点数： 初診 628点 再診 354点

④ ③に尿のクレアチニン濃度を加えたパターン (=UPCR をオーダーした時)

算定点数： 初診 639点 再診 354点